



ASAHI University News Letter

vol.111
September 2017

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 入試広報室

産学連携協定を締結



村瀬幸雄十六銀行頭取(右)と大友克之学長が「産学連携協定」を締結

(株)十六銀行と朝日大学とは、地域活性化に向け地域社会や地域企業が抱える課題に連携して取り組むことを目的として、産学連携活動を実施することに合意し、「産学連携に関する協定」を締結しました。

オープンキャンパスで朝日大学を体感

模擬授業・キャンパス見学などで1日大学生

法学部、経営学部、保健医療学部の志願者を対象としたオープンキャンパスが穂積キャンパスで開催されました。

県内外から多くの高校生や保護者らが来学し、模擬授業・実習体験、入試・奨学金説明、学生や教職員とのフリートークなど希望するプログラムに参加し、大いに「朝日大学」を体感したようです。

本年4月に開設した保健医療学部健康スポーツ科学科では、球技場西側にある専用施設の演習棟でオープンキャンパスが実施されました。特に最新の機器を用いた実習体験では、参加者が体の動きを測定し、運動を科学的な視点で捉えることの大切さを実感しました。



全体説明でプログラムを確認



最新の機器を用いた実習体験(健康スポーツ科学科)



ELSで英会話を楽しく学ぶ

保健医療学部看護学科では、学科説明・看護の魅力や模擬授業、教員や学生スタッフと一緒に実習を体験。参加者は基礎看護学実習室で看護の基本となる衛生的な手洗いについて、母性・小児看護学実習室では子どもへの授乳やジャケット着用による妊婦体験など、各専門領域の看護に触れました。



コミュニケーションツールについて学ぶ(看護学科)

また、大学生活の様子など自由に質問できる学生スタッフとの交流コーナーへ多くの参加者が訪れ、大学での学びについて理解を深めました。

未来の歯科医師を目指す



歯学部志望者を対象としたオープンキャンパスには、全国各地から歯学部への入学をめざす高校生、保護者・家族らが集い、建学の精神や教育方針、歯科医師国家試験への取り組み、学費の体系、そして、歯科医師の魅力などの説明に熱心に耳を傾けていました。

「患者型マネキン」ではじめての歯科治療薬を取り上げた歯科薬理学や入れ歯の歴史から学ぶ歯科補綴の起源についての模擬講義や、最新鋭機器を備えたシミュレーション実習室で、患者型マネキンで実際に虫歯に見立てた模型の歯を削り「歯科医療」の現場を真剣な表情で実体験しました。

未来の歯科医師たちは、朝日大学の歯学教育を体験し、歯科医師をめざす気持ちがより強くなったようです。

市民相談室



相談内容

- ▶ 法律・経営に関するこ
- ▶ 歯や体の健康に関するこ

朝日大学では、地域の皆様との交流を深めるとともに、大学で行っている教育や研究の成果を皆様の生活に役立てていただけるよう、市民相談室を開設しています。それぞれの分野について専門の教職員が皆様からご相談をお受けし、解決に向けてアドバイスをさせていただきます。

予約制

相談は電話による予約制です／予約受付時間／月～金9:00～17:00 土9:00～13:00

法律・経営
健康相談 TEL 058-329-1199
E-mail:soudan@alice.asahi-u.ac.jp

入試相談 ☎ 0120-058327
E-mail:nyushi@alice.asahi-u.ac.jp

(株)十六銀行と 「产学連携に関する協定」を締結



協定締結にあたり大友学長(左)が挨拶

(株)十六銀行と朝日大学とは、地域社会や地域企業が抱える課題に連携して取り組むことを目的として、产学連携活動を実施することに合意し、十六銀行本店(岐阜市)において「产学連携に関する協定」を締結しました。

締結式では、十六銀行の村瀬幸雄頭取と大友克之学長が協定書に署名しました。

本学は、これまでに19の企業や、地方自治体、その他諸団体と各種連携協定等を締結しております。

今回の協定に基づく連携事業の一環として、十六銀行の取引先企業に対する技術相談、共同研究、受託研究など产学連携支援、十六銀行の海外ネットワークを活用した本学学生の海外研修の実施、十六銀行からの派遣講師による特別講義の開講が予定されています。

北欧フィンランドから 歯学部学生を受け入れ

本学と文化学術交流協定を締結し、学生・教員の相互交流を行っているフィンランドのトゥルク大学歯学部の教員と学生が、本学歯学部での短期海外研修のため来日しました。

一行は、穂積キャンパス図書館のクリエイティブワークエリアで藤原周歯学部国際交流委員長らによる「日本文化と食べ物」、「パノラマ撮影を用いた新技術の開発」の講義やトゥルク大学教員の講義を受講。附属病院では歯学部教員の指導のもと、シミュレーション実習を体験し本学での充実した研修プログラムに取り組みました。

日本の歯科治療の現場を視察

穂積キャンパスでの研修を終えた一行は、日本一の淡水魚水族館「アクアトトギフ」、墨俣城や岐阜城を見学、河川に恵まれた地理を中心に発展した岐阜の歴史や成り立ちを学びました。また、古都京都では、和服姿で京都を散策



歯科医療機器メーカーのモリタ製作所で最新の治療機器を視察したり、着物姿で金閣寺や伏見稻荷を散策し日本の伝統的文化を体験。トゥルク大学の学生らは、本学での充実した短期研修を終え帰国の途につきました。

学生と社会人のワールド・カフェ

「男女共同参画・女性の活躍推進事業の連携に関する覚書」を締結している瑞穂市と朝日大学の共催により、男女共同参画週間(6/23~6/29)にあわせ穂積キャンパス6号館学生食堂で、ワールド・カフェが開催され、社会人や学生ら約80名の参加がありました。

カフェのようなリラックスできる雰囲気の中で少人数で自由な話し合いを行うワールド・カフェでは、はじめに棚橋敏明瑞穂市長による開会の挨拶、その後野田聖子衆議院議員(現:総務大臣)の基調講演、NPOあゆみだした女性と子どもとの会理事長の廣瀬直美氏の講演が行われ、参加者は「働くこと、働き続けること」をテーマに情報交換や相互理解を深めていました。



「男女の別なく働ける社会を作りましょう」と野田議員が講演

歯学部海外研修を実施

歯学部は、国際的な視野を持ち幅広く活躍できる歯科医師を育成するために、毎年夏季休暇等を利用し「短期海外研修」を実施しています。5年生を対象とした海外研修の費用は全額大学で負担しており、学生にとっては、国際交流を深め海外の医療の現場を知る絶好の機会といえます。

出発を前に壮行会が行われ、大友克之学長、田村康夫副学長、江尻貞一歯学部長、藤原周歯学部国際交流委員長ほか、引率教員ら関係者が出席しました。



壮行会で決意を発表する学生たち

今回海外研修に参加する学生たちは、研修先での各種研修プログラムに思いを馳せ、期待に胸を膨らませると共に、それぞれの意気込みを英語、スペイン語、中国語などの研修先の言語で堂々と発表していました。

海外4カ国7大学へ派遣

夏季休暇を利用した2017年度の歯学部短期海外研修は4カ国7大学でそれぞれ行われ、8月末までに全て終了、将来の歯科医師たちにとって実り多い海外研修となつたようです。

	フィンランド	トゥルク大学	2名
	中 国	北京大学口腔医学院	5名
		第四軍医大学	5名
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	5名
	アメリカ	テキサス大学サンアントニオ校	5名
		アラバマ大学バーミングハム校	5名
	メキシコ	メキシコ州立自治大学	5名

「デンツプライシロナ賞」を受賞

「第55回日本小児歯科学会」(北九州市:西日本総合展示場新館)において、歯学部ポストドクター(小児歯科学分野)の鈴木あゆみ先生が「デンツプライシロナ賞」を受賞されました。同賞は大学院在学中に優秀な業績を収めた学生に与えられる栄誉ある賞です。

今回の受賞は、小児歯科学研究室が行っている一連の研究で「妊娠中のストレスにより、生まれた仔の海馬の神経細胞死や空間認知能の低下が誘発され、空間認知能の低下は、オリゴデンドロサイトの減少と髓鞘の菲薄化が深く関与していること」を明らかにした研究成果が高く評価されたものです。



鈴木先生(左)と飯沼光生教授

FD・SD研修会で「IR」を学ぶ

FD活動推進委員会(委員長:森下伊三男副学長)主催による「2017年度第3回FD・SD研修会」が穂積キャンパス5号館講義室で開催され、教職員約200名が熱心に学びました。

今回の研修会は、「2016年度朝日大学IR調査報告と2017年度学部方針について」をテーマに、田村康夫副学長(IR推進本部長)から2016年度朝日大学IR調査結果が報告されるとともに、2017年度学部方針について各学部長・学科長による講演が行われました。

研修会場では、IR活動や各学部の様々な取り組みに関し質疑応答が活発に行われ、参加者は真剣なまなざしで研修に取り組んでいました。



田村副学長がIR活動について報告

IR [Institutional Research]

機関の企画立案、政策形成、意思決定を支援する情報を提供するために高等教育機関内で行われる研究

ジュニア・ロースクール開講

穂積キャンパス6号館模擬法廷で、中学生を対象とした「ジュニア・ロースクール」が開講されました。

裁判員制度の実施に伴い、国民の司法参加が必須となった今日において、一般市民に対する法教育、さらには、若年層に対する学校での法教育の重要性が増しています。ジュニア・ロースクールは、岐阜県弁護士会、法学部を有する朝日大学、県内小・中・高等学校の法教育推進を目的として設立された岐阜法教育研究会が連携し、中学生の夏休み体験学習の一つとして毎年開講されています。

模擬法廷で裁判を体験!



中学生たちが裁判員制度を学ぶ

官・検察官・弁護士は何をしているの?などの疑問を解決しようと熱心に受講していました。

模擬法廷に集まった50名をこえる中学生たちは、初めて体験する裁判所(模擬法廷)の様子に少し緊張ぎみの様子でしたが、「裁判って、いったいなんなの?」、「裁判官・検察官・弁護士は何をしているの?」などの疑問を解決しようと熱心に受講していました。

看護学科実習体験

高大連携事業の一環として聖マリア女学院高等学校(岐阜市)の看護学科実習体験が穂積キャンパスで開講され、同校2年生の生徒約100名が「看護師の魅力」を熱心に学びました。

看護学科実習体験の開始にあたり保健医療学部看護学科の須賀京子教授が挨拶、また同校OGの在学生が後輩へ大学生活の紹介やアドバイスを行いました。

その後、生徒たちは4グループに別れ、「創傷処置、聴診器を使ってできること、妊婦さんの疑似体験、自助具を使った日常生活動作の体験」をそれぞれ実習、看護師の魅力を学ぶとともに「一日看護学生」を体験しました。



OGが後輩へアドバイス



創傷処置を体験

主権者教育を実施

高大連携事業の一環として、岐阜県立大垣商業高等学校の多目的ホールで3年生280名を対象に「主権者教育」の授業が実施されました。

今回の高大連携は、昨年に選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを受け、大垣商業高等学校が有権者となる3年生全生徒を対象に主権者教育を実施するにあたり、法学部を有し主権者教育の実績がある本学に授業実施の要請があったものです。

はじめに本学法学部長の大野正博教授が「有権者として求められる力を身に付けるために」と題した授業を実施。その後、3年生の生徒が有権者として政治に参加する意識を育むため、また、社会の構成員として自ら考え、判断し、行動しようとする態度を育成するため、国や地域の問題を取り上げ、同校の生徒3名と法学部の学生2名がパネルディスカッションを行いました。



大野先生が主権者教育の授業を展開

海外の看護を学ぶ

穂積キャンパス5号館講義室で、人間環境大学看護学部（愛知県大府市）の朝倉由紀特任講師をお招きし、保健医療学部看護学科の特別講義が行われました。

「アメリカのヘルスケアシステムと高度実践看護師の活動」と題した講義では、アメリカにおける「看護師を取り巻く環境、看護教育の状況、高度実践看護師になるための要件・方法、職務内容、将来的展望」などについて、朝倉先生自身のコロラド大学病院やアメリカ国内の病院での臨床経験をまじえたお話をありました。

朝倉先生には、看護学科がアメリカコロラド州デンバーで実施している学生短期海外研修の運営に現地で尽力いただいており、将来海外の病院で看護師として働く夢を抱く学生たちからは、「どのような準備をする必要があるのかを知ることができてとても良かった」などの感想が聞かれました。



海外の看護師事情を語る朝倉先生

米国人映画監督が講演

穂積キャンパス6号館大講義室で、法学部、経営学部、保健医療学部健康スポーツ科学科の学生約400名が、学内外の有識者が交代で講師を務める「建学の精神と社会生活」の授業を受講。今回は本土と沖縄、日本と米国、性別など様々な差別の意識について熱心に学びました。



ユンカーマン氏が学生たちに語りかける

沖縄県の米軍基地問題などを題材にした長編ドキュメンタリー映画「沖縄うりづんの雨」を制作した米国人映画監督のジャン・ユンカーマン氏を講師にお招きした今回の授業では、「沖縄に基地がたくさんあることは仕方がない、というような差別が沖縄戦から今日まで続いている」とユンカーマン氏が解説・指摘。「日本と米国、皆さんと一緒にこの問題に関心を持ち、解決していきましょう」と学生たちに語りかけました。

ひらめき☆ときめきサイエンス

ようこそ大学の研究室へ

穂積キャンパス1号館臨床系実習室・ゼミ室で、「ひらめき☆ときめきサイエンス教室」（科学研究費助成事業）が開催され、中学生や高校生15名が「光触媒による歯の漂白」実験に取り組みました。

参加者たちは、歯学部の亀水秀男教授から光で歯をホワイトニングする方法について講義を受け、その後実際に実験に取り組みました。



中学生らがホワイトニングを体験

だれもがあこがれる白く輝く歯が歯みがきではなく、光触媒で可能になることに驚いた中学生らは、実験の成果に目を輝かせていました。また、参加者は附属病院、図書館、講義室を見学し、充実した夏休みの1日を朝日大学で過ごしました。

「熱中症対策講話」を受講

「熱中症対策講話」が学生部主催の行事として穂積キャンパス5号館講義室で行われ、各クラブの学生や教職員ら約100名が受講しました。

本講話は、この時期「熱中症」による事故が多数報告されていることから、運動中、課外活動中の「熱中症の危険性」について、学生や教職員が十分認識を高めることを目的に毎年開催されています。

大塚製薬(株)の土屋勝哉氏からは、「熱中症」の発生要因とその対処法について分かりやすく講話がなされると共に、実際に身近なスポーツドリンクを利用した補給法が示されました。参加した学生や教職員は、「熱中症」を身近な問題としてとらえ、みな真剣な眼差しで受講していました。

人工呼吸法や心臓マッサージを学ぶ

その後、いつどこで発生するか予測できない災害に備え、学生生活における事故防止の知識と、救急法(応急手当)の基本的な技術を習得するための「救急救命法講習会」が開催されました。

講習会では、山本英弘学生部長から、救急救命に関する講演や「人工呼吸法、心臓マッサージ」の説明が行われました。参加者たちはいざというときの「心肺蘇生法」を学びました。



「熱中症の危険性」について語る土屋氏

学生補導講演会を開催

学生部主催の「犯罪に巻き込まれないために」と題した「学生補導講演会」が、穂積キャンパス6号館講義室において開催されました。

自己防衛のための意識高揚を

講演会では、はじめに山本英弘学生部長の挨拶があり、その後、北方署の若尾尚宏生活安全課長から、昨今多発している薬物、銃器、ストーカー、悪徳商法等の各種犯罪に本学学生が巻き込まれないようにと「各自の自己防衛のための意識高揚」につながる講話やビデオ上映が行われました。学生や教職員約200名の受講者たちはメモをとりつつ熱心に講師の話に耳を傾けていました。



北方署生活安全課 若尾課長による講話



研究不正防止研修会

穂積キャンパス6号館講義室で、朝日大学研究不正防止委員会主催による「2017年度第1回研究不正防止研修会」が開催され、教職員約250名が参加しました。

本研修会は、研究機関として正しい倫理観と行動規範を身に付けた研究者を育成し、公正な研究活動を推進することを目的として毎年開催されており、今回は、京都中部総合医療センター総長で京都府立医科大学研究開発・質管理向上統合センター長(特任教授)の伏木信次先生を講師にお招きし、「研究公正について～医学研究者の立場から～」と題したテーマでご講演をいただきました。



「公正な研究活動の推進」を伏木先生が講演

参加者は、研究者として必要な倫理観について再確認するとともに、公正な研究についての知識をより深めようと熱心に研修に取り組みました。

子供たちを不審者から守る

北方署穂積交番で、夏休みに外で遊ぶ機会が増える地域の子どもたちを不審者から守ろうと、法學部学生で組織する防犯ボランティア団体「めぐる」のメンバーと瑞穂市内の地域安全指導員によるパトロール出発式が行われました。

「めぐる」のメンバーたちは週3回平日に、青色回転灯が装着された市職員が運転する車両に同乗、学校の周辺、子供たちが遊ぶ公園や商業施設などを中心に巡回し、不審者から子供たちを守るボランティア活動に取り組みました。

出発式で代表メンバーの2年生子守哲朗さんは、「地域のパトロールを通じ、子供たちが犯罪の被害に逢わないように努めたい」と挨拶しました。

「安全・安心マップ」を作成

また、「めぐる」のメンバーは、北方小学校(北方町)の6年生児童約80名、北方署と連携し、防犯上の危険箇所をまとめた「安全・安心マップ」を作成するために、地図を手にし通学路を歩きながら身近に潜む危険な場所を確認、防犯意識を高めました。

会計研究部

全国簿記チャンピオン大会で優勝!

会計研究部は、簿記を学ぶ全国の学生約1,200名が日ごろの学修成果を競う「全国簿記チャンピオン大会」に出場し、簿記1級部門で団体と個人ともに優勝に輝くとともに、簿記2級部門では団体3位という好成績を収めました。



全国簿記チャンピオン大会優勝を大友学長へ報告

「公認会計士試験(短答式)」に現役合格!

また、会計研究部では難関試験といわれている「平成29年度公認会計士試験(短答式)」において、5名の部員がみごと現役合格(受験者4,916名で合格者475名)をはたしました。

公認会計士試験(論文式、短答式)や日商簿記検定1級・2級などに合格した会計研究部のメンバーは現在59名。彼らは経営学部経営学科で学び、公認会計士、税理士、国税専門官や企業の財務・経理プロフェッショナルをめざし、現役公認会計士らの個別指導のもと専用学習室でパソコンやWebサポートシステムなどを利用し、日々、夢の実現に向け歩みを続けています。

ラグビー

東海リーグ連覇に向けて好発進

体育会ラグビー部は、穂積キャンパスラグビー場で開催された「第22回ギフセブンズ大会」に出場し、みごと優勝に輝きました。

熱戦が繰り広げられる

「ギフセブンズ」は7人制のラグビー大会で、今大会には大学、社会人、クラブチームの5チームが出場しリーグ戦で覇を競いました。本学ラグビー部(Aチーム)は決勝戦で社会人チームぎふ清流ラガーズに26対21で競り勝ち優勝をはたし、えひめ国体に向けて県代表チームに選出されました。

昨シーズン東海リーグ7連覇を成し遂げたラグビー部、リーグ8連覇に向けて好発進となった「ギフセブンズ大会」でした。

ボウリング

オールジャパンレディース優勝

体育会ボウリングチーム(Blue Flash)の入江菜々美選手(ビジネス企画3年:愛知)は、新狭山グランドボウル(埼玉県)で開催された「第30回オールジャパンレディースボウリングトーナメント」に出場し、みごと女王(ヤングの部)の栄冠を手中に収めました。

入江選手の国内外でのさらなる活躍が期待されます。

自転車競技

学生チャンピオンが誕生

学生個人チャンピオンを決める「第58回全日本学生選手権」が、東京オリンピック自転車競技会場に決定している日本CSCベロドローム(静岡県)で開催され、自転車競技部の中村賢人選手(ビジネス企画4年:熊本)がスクラッチで優勝し、みごと学生チャンピオンに輝きました。

学生選手権ではほかに、1kmTTでの準優勝を含め合計8の入賞数をかぞえ、朝日大学の競技力の高さが發揮された大会となりました。



庄倒的な強さで優勝した中村選手(表彰式にて)

西日本インカレ「12連覇」

また、岸和田競輪場(大阪府)で行われた「第53回西日本大学対抗選手権大会」では、スプリント、1kmTT、ケイリン、スクラッチレース、タンデムSP、4kmIP、3kmIP、4kmTPの8種目で優勝を含め圧倒的な強さを發揮。西日本インカレの「総合優勝」を果たすと共に、この大会前人未到の12連覇の栄冠に輝きました。



優勝した4kmTP

相撲 第3回全国女子相撲選抜ひめじ大会

無差別級準優勝・3位入賞、重量級準優勝
中量級準優勝、軽量級準優勝・3位入賞

第8回全日本郡上大会

一般中量級3位入賞

フェンシング 第67回全日本学生フェンシング王座決定戦

男子サーブル団体・エペ団体準優勝
女子フルーレ団体・サーブル団体3位入賞

ライフル射撃 第2回日本学生選抜スポーツ射撃大会 準優勝

NEWS

ハワイ大学との連携に向け始動

宮田淳理事長と大友克之学長が、ハワイ大学マノア校を訪問し大学間の連携に向けた交渉をスタートさせました。

同校は1907年に創立されたハワイ州で最も大きく、かつ知名度の高い大学。宮田理事長と大友学長は、看護学部看護学科と歯科衛生士学科、そして教育学科を訪問し国際交流責任者との意見交換やMOU締結に向けた準備を行いました。

今後、本学保健医療学部看護学科、健康スポーツ科学科、歯科衛生士専門学校との連携・交流に向け建設的な協議が進むこととなります。



ハワイ大学マノア校のスポーツアリーナ

地域の未来と一緒に考える



学生たちが未来の瑞穂市を考える

穂積キャンパス6号館学生食堂で、瑞穂市、瑞穂市社会福祉協議会と朝日大学とが協働し実現した「朝日大学が考える地域との絆」のワークショップが開催されました。

経営学部の畠地真太郎教授がコーディネーターを務めたワークショップでは、「大学卒業後、瑞穂市に在住するなら!? 大学卒業後、在住する地域に何を望む!? 大学周辺地域との交流は必要!? 大学周辺地域との交流はどのようにすべき!?!」をテーマに参加した学生たちが学生の視点から、「未来ある若者がより多く住む瑞穂市にするための方策」について建設的な意見交換を行いました。

スポーツフェスティバル開催

体育会が公益社団法人ぎふ瑞穂スポーツガーデンと共に、穂積キャンパスで「第8回スポーツフェスティバル」を開催。地元の小・中学生や保護者ら約400名が参加し大学生らとのスポーツを楽しみました。



大学生と室内でレクリエーション

今回で8回目の開催となった同フェスティバルは、全学をあげスポーツ活動を支援している朝日大学が、地域貢献活動としてレクリエーションを通じてスポーツに親しんでもらおうと開いたスポーツイベントで、地域住民と学生の交流の場となっています。

子供たちがスポーツ体験

体育会所属の各クラブの部員らが指導者となり、綱引き、大玉転がしや徒競走など遊びの要素を取り入れたレクリエーションを運営。午後には部員たちによるラグビー、フェンシング、相撲、硬式野球、剣道やホッケーのミニ試合が行われ、迫力あるプレーやユニフォーム姿に子供たちは歓声をあげて目を輝かせていました。



選手を相手に剣道に取り組む子供たち

朝日祭告知!!

盛りだくさんのイベントを予定

「第47回朝日祭」が盛大に開催されます。
皆様お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

期　日 2017年 10/20(金)・21(土)

催し(予定) ライブコンサート、模擬店、bingo大会、
フリーマーケット など



昨年の朝日祭の様子